

◆令和3年12月9日

## 「とちぎ女性農業委員の会第13回通常総会」

### 「女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員研修会」を開催

護国会館（宇都宮市）で開催し、83名が参加。

通常総会では、第1号議案～第5号議案（事業報告・計画、収支決算・予算等）の全議案が承認されました。



研修会では、（一社）全国農業会議所より「女性農業委員・女性農地利用最適化推進委員に期待すること」についてご講演いただいた後、14グループに分かれて意見交換を行いました。



意見交換では、“もっと女性農業者の声を聞きたい”、“座談会を開いて情報交換をしたい”、“農業委員会を様々な媒体でPRし、もっと女性委員を増やしたい”との声が上がりました。

※ 全員マスク着用、パーティションの設置、消毒・換気等感染対策を行いました。

◆令和4年1月11日～12日

## 「令和3年度女性農業委員登用促進研修会」に参加

(一社)都道府県農業会議・府県女性農業委員会組織主催による「令和3年度女性農業委員登用促進研修会」に参加しました。

駒澤大学 経営学部の渡辺 伊津子 教授より、「女性登用に向けた実験型協働の試み」について、また、農林水産省経営局就農・女性課の渡邊 桃代 女性活躍推進室長より、「農業における女性の活躍推進」について講演が行われました。農林水産省の渡邊氏は、“今後の農業の発展、地域経済の活性化のためには、生活者の視点や多彩な能力を持つ女性が力を発揮していけるようにすることが必要である。”と話していました。



事例報告では、栃木県日光市農業委員会の星 一徳 前会長から、女性委員の登用について、これまで行ってきた取組や地方紙等による農業委員会活動のPR方法などを紹介いただきました。



最後に意見交換を行い、悩みや課題を共有し、これからの活動に向けて士気を高めました。

◆令和4年7～9月

## 女性委員登用要請活動を実施！

下記日程で女性委員の登用について意見交換を行い、各市町農業委員会会長に対し「女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用に向けた要請書」を渡しました。

	日程	対象市町
①	7月11日	上三川町、宇都宮市、鹿沼市
②	7月22日	真岡市
③	7月27日	芳賀町
④	7月29日	益子町、茂木町、市貝町
⑤	8月30日	矢板市、塩谷町、さくら市
⑥	9月5日	大田原市、那須塩原市
⑦	9月13日	壬生町、小山市、野木町
⑧	9月14日	那須町
⑨	9月27日	佐野市、足利市

※ 令和5年改選予定の19市町を全て回った。

### 《意見交換と要請の様子》



女性委員登用については、栃木県農村女性会議と連携して要請活動を行いました。

## 「女性農委の登用めざす 栃木県農村女性会議 県農業会議に要請」



栃木県農村女性会議（横山玲子会長）はこのほど、とちぎアグリプラザ（宇都宮市）で栃木県農業会議（國井正幸会長）に要請した。

横山会長は「農村社会の発展には女性の活躍が必須。県が策定した『とちぎ農業・農村男女共同参画ビジョン』に基づき26年にわたり登用要請活動を進めてきた。これらの活動が実を結び、本県の女性農業委員登用率は19.8%と4年連続全国1位である」とあいさつ。「来年は県内19市町で一斉に改選期を迎える。方針決定の場への女性参画を進めるためにも、リーダーシップを発揮していただき、改選市町の女性農業委員登用率が現況を上回る結果となるよう、より一層の理解と支援をお願いしたい」と國井会長に要請書を手渡した。

國井会長は「女性が積極的に手を挙げられよう支援していく。県や県議会に対しても要請していきたい」と述べた。県農業会議から県への要請会は10月27日に行った。

（令和4年10月28日付 全国農業新聞（東日本版）10面記事より）

◆令和4年11月9日

## 「令和4年度関東ブロック女性農業委員等研修会」を開催！

栃木県宇都宮市で開催し、茨城県、群馬県、埼玉県、神奈川県、千葉県、山梨県、栃木県の女性農業委員と女性農地利用最適化推進委員、約300人が参加。

宇都宮大学農学部農業経済学科の西山未真教授が「持続的な社会を実現するための女性農業者の役割」について講演。



事例発表は栃木県大田原市農業委員会の女性農業委員4人のグループ「チームあゆみ」がこれまでに企画・開催してきた「女性のための農機具研修会」や「農業女子のつどい」などの活動を紹介。大田原市公式キャラクターの与一くとあゆみさん夫婦も登場し、大盛況でした。



3年ぶりの現地開催ということもあり、他県の委員と交流ができて嬉しかったとのお声をいただきました。